

えだわんだより

5月号

令和7年 4月 30日発行

共に伸び 共に輝け 感謝・感動 しなやかえだわん

㊦ 笑顔で あいさつ

㊧ だれもが 安心

㊨ 一人一人 みんなちがって みんないい

㊩ がんばろう 最後まで

㊪ 信じ合おう 友達



あいさつの「4つのやくそく」



文と絵 校長 北村 高則

あいさつには「^{こころ ひら}心を開いて、^{あいて}相手との^{きより ちち}心の距離を縮める」という意味があります。あいさつは、人^{かか}と関わるスタートです。コミュニケーションは、あいさつ^{はじ}から始まります。

あいさつは **あ**^{あか}明るく、 **い**いつでも、相手よりも **さ**^{さき}先に、
どんな場面^{ばめん}でも **つ**^{つづ}続けていきましょう。

自分^{じぶん}から、あいさつをするということは、意外とおずかしいものです。しかし、いつも自分から「おはようございます」と にあいさつをしている子^こがいます。ニッコリと笑顔^{えがお}で、しっかりと相手の目^めを見てあいさつするのです。

遠く^{とお}からでもその声^{こえ}は聞こえてきます。その声を聞くとなぜか ^でが出てきてがんばるぞという力がわいてくるのです。

あいさつは、人の心と心をつなぐだけでなく、相手^{ちから}を にさせる力^{ちから}をもっているのですね。

あ かるく
い つでも
さ きに
つ づける

